

## 令和6年度実務経験のある教員等による授業科目シラバス


 関西医療学園専門学校  
理学療法学科

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門分野	理学療法	骨関節疾患理学療法学	2年 講義4単位(120時間) <b>必修</b> 実習1単位(30時間) <b>必修</b>
		<p>[到達目標] 整形外科学講義の理解のうえに、理学療法を実施するリスク要因、クリティカルパスの理解及び機能改善に対応した理学療法プログラムを学習する。運動器障害における評価、基本的な運動療法手技と物理療法手技を安全に実践することができることを目標とする。</p> <p>☆実務経験教員担当科目 理学療法士が勤務先(病院・デイサービスセンター)における患者(利用者)の症例及びこれに対する理学療法について、スライドを用いて臨的に教授する。</p>	1. 骨折脱臼の運動療法①(頸椎・肋骨) 2. " ②(鎖骨) 3. " ③(上腕骨近位端骨折) 4. " ④(上腕骨骨幹部骨折) 5. " ⑤(上腕骨顆上骨折) 6. " ⑥(上腕骨外顆骨折) 7. " ⑦(腕骨内側上顆骨折) 8. " ⑧(肘頭骨折) 9. " ⑨(橈骨近位端骨折) 10. " ⑩(前腕骨骨折) 11. " ⑪(橈骨遠位端部骨折) 12. " ⑫(手根骨・手指骨折) 13. " ⑬(骨盤骨折) 14. " ⑭(大腿骨頸部骨折) 15. " ⑮(胸腰椎圧迫骨折) 16. " ⑯(大腿骨骨幹部骨折) 17. " ⑰(膝蓋骨骨折) 18. " ⑱(脛骨近位端骨折) 19. " ⑲(下腿果部骨折) 20. " ⑳(距骨骨折) 21. " ㉑(踵骨骨折) 22. " ㉒(肩鎖関節脱臼) 23. " ㉓(肩・肘・膝蓋骨脱臼) 24. 疾患別理学療法①(斜頸) 25. " ②(頸椎椎間板ヘルニア) 26. " ③(後縦靭帯骨化症) 27. " ④(脊柱側彎症) 28. " ⑤(胸郭出口症候群) 29. " ⑥(変形性脊椎症) 30. " ⑦(五十肩) 31. " ⑧(離断性骨軟骨炎) 32. " ⑨(内反肘・外反肘) 33. " ⑩(肘部管症候群) 34. " ⑪(腱鞘炎) 35. " ⑫(デュピイトレン拘縮) 36. " ⑬(手根管症候群) 37. " ⑭(変形性股関節症) 38. " ⑮(大腿骨頭すべり症) 39. " ⑯(ペルテス病) 40. " ⑰(腰部椎間板ヘルニア) 41. " ⑱(腰椎分離・すべり症) 42. " ⑲(変形性膝関節症) 43. " ⑳(オスグットシュラッター病) 44. " ㉑(膝蓋軟骨軟化症) 45. " ㉒(膝蓋腱炎・鷲足炎) 46. " ㉓(腸脛靭帯炎) 47. " ㉔(アキレス腱炎) 48. " ㉕(反張膝・内外反膝) 49. " ㉖(コンパートメント症候群) 50. " ㉗(シンスプリント) 51. " ㉘(疲労骨折・外脛骨) 52. " ㉙(扁平足・外反母趾)

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門分野	理学療法 治療学	骨関節疾患理学療法学	<p>53. 軟部組織損傷①(インピンジメント症候群)  54. " ②(腱板断裂)  55. " ③(二腕二頭筋長頭腱断裂)  56. 軟部組織損傷④(TFCC損傷)  57. " ⑤(上腕骨外側上顆炎)  58. " ⑥(手の腱損傷・槌指)  59. " ⑦(大腿部の肉離れ)  60. " ⑧(膝靭帯損傷・半月月板)  61. " ⑨(アキレス腱断裂)  62. 軟部組織損傷①(腓骨筋腱脱臼)  63. " ②(足関節捻挫)  64. " ③(足底筋膜炎)  65. 末梢神経損傷①(橈骨神経麻痺)  66. " ②(正中神経麻痺)  67. " ③(尺骨神経麻痺)  68. " ④(総腓骨神経麻痺)  69. 末梢循環障害①(フォルクマン拘縮)  70. " ②(キンベック病)  71. " ③(第1ケーラー(Kohler)病)  72. " ④(閉塞性血栓血管炎)  73. " ⑤(静脈血栓症)  74. 関節リウマチ  75. 熱傷</p> <p>指定教科書 「標準整形外科学」(医学書院)  「運動器疾患の治療とリハビリテーション」(メジカルビュー)  「リハビリテーション医療に活かす画像のみかた」(南江堂)  骨関節疾患理学療法学  Work book 電子版</p> <p>成績評価 前・後期試験</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門分野	理学療法	<p>脊髄損傷理学療法学</p> <p>[到達目標] 脊髄損傷の病態を理解し、損傷高位別の臨床像と理学療法評価及び運動療法について学び、特徴的な随伴症状と合併症などのリスク管理、ADL自立と社会復帰に向けた補装具の知識を養うことを目標とする。</p> <p>☆実務経験教員担当科目 理学療法士が勤務先（リハビリテーション病院）における患者の症例及びこれに対する理学療法について、スライドを用いて臨床的に教授する。</p>	<p>2年 講義 1単位 (30時間 <b>必修</b>)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脊髄損傷の解剖</li> <li>2. 理学療法評価</li> <li>3. 肺理学療法①</li> <li>4. " ②</li> <li>5. 車椅子処方① (車椅子処方)</li> <li>6. " ② (車椅子練習)</li> <li>7. 治療指導①</li> <li>8. " ②</li> <li>9. 排尿・尿路障害①</li> <li>10. " ②</li> <li>11. 脊髄損傷と性機能</li> <li>12. 脊髄損傷とスポーツ</li> <li>13. 脊髄損傷と自動車運転</li> <li>14. 脊髄損傷者の実際① (特別介護施設見学)</li> <li>15. " ② ( " )</li> </ol> <p>指定教科書 「脊髄損傷に対するPT・OTアプローチ 臨床経過モデルに基づく介入」 (メジカルビュー) 資料デジタル配信</p> <p><b>成績評価</b> 後期試験</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門分野	理学療法 治療学	<p>義肢装具学</p> <p>[到達目標] 各部位での切断に対応する義肢の種類と利点、四肢及び体幹の形態が残存している場合に用いる装具の種類と利点を学習することにより、機能構造障害に適應する義肢・装具の選定ができることを目標とする。</p> <p>☆実務経験教員担当科目 義肢装具士が開設する義肢装具製作所における義肢・装具の製作及び適合判定等についてスライドを用いて講義を行うとともに、装具加工の実習により臨床的に教授する。</p>	<p>2年 講義 1単位 (30時間 <span style="border: 1px solid black;">必修</span>) 実習 1単位 (30時間 <span style="border: 1px solid black;">必修</span>)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歩行と義肢装具のバイオメカニクス</li> <li>2. 切断</li> <li>3. 義肢</li> <li>4. 下腿義足</li> <li>5. 大腿義足</li> <li>6. 股義足</li> <li>7. 膝義足</li> <li>8. サイム義足</li> <li>9. 足部部分義足</li> <li>10. 義手</li> <li>11. 切断者のリハビリテーション</li> <li>12. 装具</li> <li>13. 下肢装具① (片麻痺)</li> <li>14. " ② (対麻痺)</li> <li>15. 膝装具 (スポーツ障害)</li> <li>16. 小児装具① (股関節装具)</li> <li>17. " ② (二分脊椎)</li> <li>18. " ③ (筋萎縮症)</li> <li>19. 整形外科的治療装具</li> <li>20. 靴型装具・足装具</li> <li>21. 頸椎装具</li> <li>22. 側彎装具</li> <li>23. 腰背痛の装具</li> <li>24. 脳性麻痺の装具</li> <li>25. リウマチの装具</li> <li>26. 末梢神経損傷の装具</li> <li>27. 術前・術後の装具</li> <li>28. 頸髄損傷の上肢装具</li> <li>29. 義肢装具の材料学</li> <li>30. 義肢装具の制度</li> </ol> <p>指定教科書 「義肢装具学」 (医学書院) 義肢装具学 Work book <span style="border: 1px solid black;">電子版</span></p> <p><span style="border: 1px solid black;">成績評価</span> 前・後期試験</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門分野	地域理学療法学	<p>地域理学療法学総論</p> <p>[到達目標]  地域医療の成り立ち及び施設間、職員間の連携の重要性を理解し、地域での暮らしを支えるために必要な基礎知識について学習する。これにより、地域医療を支える制度的環境や社会資源等のシステムを正しく理解し、そのなかにおいて活動する理学療法士の役割を理解することを目標とする。</p> <p>☆実務経験教員担当科目  理学療法士が勤務する病院・介護老人保健施設における患者（入所者）の症例及びこれに対する理学療法について、スライドを用いて臨床的に教授する。</p>	<p>2年 講義 2単位（60時間 <b>必修</b>）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域理学療法学概念</li> <li>2. 地域リハビリテーションを支えるシステム</li> <li>3. 地域理学療法学の展開①（対象者の捉え方）</li> <li>4. " ②（介護認定とケアマネジメント①）</li> <li>5. " ③（ " ②）</li> <li>6. " ④（入所サービス①）</li> <li>7. " ⑤（ " ②）</li> <li>8. " ⑥（通所サービス①）</li> <li>9. " ⑦（ " ②）</li> <li>10. " ⑧（訪問サービス①）</li> <li>11. " ⑨（ " ②）</li> <li>12. " ⑩（介護予防①）</li> <li>13. " ⑪（ " ②）</li> <li>14. " ⑫（集団対応）</li> <li>15. " ⑬（地域連携①）</li> <li>16. " ⑭（ " ②）</li> <li>17. " ⑮（他職種との連携）</li> <li>18. " ⑯（施設の取組み①）</li> <li>19. " ⑰（ " ②）</li> <li>20. 生活環境の整備①（住宅改修①）</li> <li>21. " ②（ " ②）</li> <li>22. " ③（福祉用具①）</li> <li>23. " ④（ " ②）</li> <li>24. " ⑤（シーティング）</li> <li>25. 社会保障制度①（年金保険）</li> <li>26. " ②（医療保険①）</li> <li>27. " ③（ " ②）</li> <li>28. " ④（労働保険）</li> <li>29. " ⑤（介護保険①）</li> <li>30. " ⑥（ " ②）</li> </ol> <p>指定教科書 「標準理学療法学  地域理学療法学」（医学書院）  資料デジタル配信  「保健行政法学第14版」  （関西医療学園専門学校）</p> <p><b>成績評価</b> 前・後期試験</p>